

9月30日(月)

神様からの希望の御言葉

聖書朗読 イザヤ 44:24-28

主は仰せられた。『わたしがあなたを購った。

イザヤ 44:24

ボブは何十年も関節炎を患い手足が麻痺しています。手がねじれ、いつも痛みを伴い、それが慢性的になっています。彼の病状を見るとだれもが力を落とします。

しかしボブは神様への信仰を持ち続け一日を通して祈り続けている事や、他の人にも神様の祝福がありますようにとお願いしていると話してくれました。ボブはこのような困難な状況にも関わらず常に前向きに生きようとしています。神様が良い方向へ導いてくださると言う希望を持ったからです。

イザヤ44章24-28節では、これからバビロンに囚われの身となるユダヤ人について預言的に述べられています。つまりアブラハムの子孫は先祖からの土地や家を追われて異国で悲惨な生活を強いられ、ユダヤ人にとって大事なすべてが破壊されるのを目撃することになるだろうと。しかしイザヤを通して神様の統治が彼らに希望を与えました。救世主であるペルシャ王シロスを遣わし、ユダヤ人をエルサレムに返すと言われたのです。

神様のユダヤ人に対する約束は成就されました。あなたがたの最も困難なときには神様の救済や回復という希望に満ちた御言葉によって慰められたと思いますか。

讚美歌 525

祈り 主よ。絶望から私たちを救ってくれた事に感謝します。最も困難なときにもあなたの変わらない約束により希望の持てますように。そして常にあなたの御言葉を信じそれが真実でありますように。

イエス様の御名を通して。アーメン

ロバート・P・リー

コロラド州 オーロラ

今日のカ

2013年9月30日～10月6日

翻訳 井上輝彦

編集 相川忠義

この冊子の聖句は、新改訳聖書第三版を使用しています。

御茶の水キリストの教会

10月1日(火)

神様の御前で勇気を見つける

聖書朗読 エレミヤ 1:1~19

見よ。わたしは、世の終わりまで、いつも、あなたがたとともにいます。

マタイ 28:20

私の子どもたちは、私が彼らから3メートル以内にいるときは思い切って何でもします。しかしわたしが近くにいないときには、たとえ我が家であっても暗い廊下を歩くのを怖がります。親が近くにいるということは、子供たちに勇気を与える何かがあるのです。

神様はエレミヤに諸国をめぐる預言者として命じられたとき、勇気を奮えるよう力をお与えになりました。エレミヤはまだ少年で当然どう語っていいのかわからず恐れしました。主はエレミヤを慰めるのに次のように仰せになりました。『彼らの顔を恐れるな。わたしはあなたとともにいますから。』(エレミヤ1:8) また神様はエレミヤに幻を通して命令されました。そして主は再び『わたしがあなたとともにいます。』(エレミヤ1:19) と言う事を仰せになりました。そしてエレミヤは主と一緒にならんと勇気が沸き神様の呼びかけに応えたのです。

エレミヤが自分への投獄や死をも恐れず王の前に立ち向かい神の裁きを述べ伝えたように、私たちが荒れ狂う人生の中で神様がいつも一緒にいてくださると言うことを知っていれば果敢に立ち向かえる事が出来るでしょう。イエス様は慰めの霊によって御父が私たちと共にいてくださると断言されました。だからイエス様の御前では、私たちは要請を受け入れ勇気を持って生きていけるのです。

讃美歌 285

祈り 神様。あなたの召使エレミヤを通して、慰めの力が召使になる勇気を与えたように私たちがどこに行こうともあなたが共にいる事を覚えさせていただき感謝します。

イエス様の御名を通して。アーメン。

カール・F・フリ
テキサス州 ウェイク

10月2日(水)

雪のように白い

聖書朗読 エレミヤ 33:1~9

『さあ、来たれ。論じ合おう。』と主は仰せられる。『たとい、あなたがたの罪が緋のように赤くても、雪のように白くなる。たとい、紅のように赤くても、羊の毛のようになる。』
イザヤ 1:18

第二次世界大戦の退役軍人の前線における経験話を聞く機会がありました。それは冷たい湿った空気と共に夕闇が迫る頃、ぬかるみが多い防空壕の中で配給食を食べているときに、時折間近に迫りくる砲撃音に恐怖を覚えながらも、ついに兵士達は疲れきって寝てしまうのです。

翌朝、目を覚ますとそこには素晴らしい冬の景色が広がっていました。戦争の醜さや破壊の痕跡、喪失のいやな思い出などを白銀が覆い隠していました。戦争の爪跡や音までももう有りません。すべてが洗い流されてきれいになっていました。

その瞬間に雪景色を見た兵士が、イエス様が流された尊い血の意味の深さを理解しました。その兵士の罪は緋の如く赤いけれどイエス様の血はその罪を眼前の汚れの無い雪のように白く覆いかぶさるのです。そして兵士の人生は新しく変わり決して以前と同じでは無くなりました。

私たちの人生も新しく生まれ変わります。イエス様のもとへ行きましょう。古い私たちに別れを告げ新しく旅立ちましょう。

私たちの罪が緋のように赤くとも、イエス様はそれを雪のように白くなさってくださいます。

讃美歌 521

祈り 敬愛する主よ。あなたの救いを賞賛します。イエス様の流された尊い血により雪のように私たちを白く変えられた事に感謝します、神様の子羊イエス様に栄光と名誉がありますように。

イエス様の御名を通して。アーメン。

ジョーン・クレイトン
ニューメキシコ州 ポータル

109月3日(木)

待てない

聖書朗読 哀歌 3:19~26

主の救いを黙って待つのは良い。

哀歌 3:26

今年の新しい課題として青年の荒野の中のトレッキングを紹介します。日中荒野の中を1人で8時間過ごすのです。水と食べ物はOK。しかし電子機器などはNO。

重要なのは静かにすることです。主の前で動かずじっとして何も言わないでただ主を待つ。約3時間後には十代の青年たちはベースキャンプに敗北を宣言し引き返し始めました。そしておのおのが『こんなに長い沈黙は耐えられない。しゃべらずにいる事は気が動転します。』と言う有様です。

若者は、音響や騒音、脳や耳への電子的に作られた刺激音に慣れているので辛いかもしれません。それよりも動かずにじっとしてしかも物も言わないでいる事はもっと辛いことです。待つ事は霊的な祝福を得るといふより拷問を受けているようです。特に都市部では騒音公害が現実となっています。私たちはよく静けさを求めるよりも音を出す方に心が向いています。-TVからの絶え間ない音、耳栓をいつも使用する状況や車のラジオの音など、、、礼拝の時さえ静かな時間がほとんどありません。

静かな環境を作り出し雑念を取り払い主の前で意識的にじっとしていると祝福がやってきます。静けさを求めることと対極の鍛錬方法としてはクリスチャンの間ではまれですが瞑想があります。宿題として主に静かな時間と場所が与えられるようにお願いし、主を待ち霊的な真実を得る為に瞑想してください。精神が浄化されます。

讃美歌 310

祈り 神様。あなたの御前で私は待ち、あなたの偉大な力の前に私の心を静めます。私が安息のうちに待つ事ができますようにお助けください。そして私を通して同じ事が他人にも起こりますように。

イエス様の名を通して。アーメン。

ボブ・ミーズ
テキサス州 ラボック

10月4日(金)

希望と絶望

聖書朗読 哀歌 3:49~58

私があなたに呼ばわるとき、あなたは近づいて、『恐れるな。』と仰せられました。

哀歌 3:57

聖書の哀歌で述べられている嘆きの中から今日の節は、希望と絶望の狭間を動く心を表しています。これらの心の浮き沈みは私たちを疲れさせますが、それは私たちが過去、現在及び未来にわたって経験する生活のリズムである事は否定できないでしょう。

時として私たちは重篤な病気の家族の枕元でお医者さんから希望が持てるような報告があったりがっかりするような事を聞かされたりします。

また私たちの信仰生活の中でも、力や信念が誘惑にまけて挫けてしまいそうで泣く事はありませんか。

または私たちが愛する人が神を求めるより世俗的なことを追い求めたりするのを見て静かに苦しんだりしませんか。それはちょうど希望の車が進みだしたとき車輪が外れるようですね。

勿論ここで預言者であるエレミヤは、自分自身やユダヤ人に対して起きていることを嘆き、内外の敵からも苦しんでいます。それは神が彼の祈りを聞きいれないようなものです。しかし希望を持てば、『恐れるな』と聞こえてくるのです。

主よ、私たちの祈りを聞いてください。主よ、あなたの御言葉を聞かせてください。

聖歌 522

祈り 主よ。私たちが絶望の底にある時、あなたの希望の言葉を聞かせてください。

イエス様の御名を通して。アーメン。

クリス・フリゼリ
テキサス州 グランバリー

10月5日(土)

神の哀れみ

聖書朗読 ヨナ 4:1~10

わたしは、恵もうと思う者を恵み、あわれもうと思う者をあわれむ。

出エジプト記 33:19

自分のことをヨナにたとえてみます。ヨナのように私も神様が望んでおられる事をする事に抵抗した時がありました。神様がドアを開けても私がぴしゃりと閉めました。窓を開けても私が閉めました。ついに神様は窓をお開けになり私が閉めないように蹴り飛ばしました。そしてとうとう神様の望み通りにしましたが、それはただ懲らしめられているような時を過ごしました。

神様が望んでおられる仕事をするときは、私はノアのようにできますようにと祈ります。また神様のご計画に従って私を使ってくださいるようにお願いします。神様のために一生懸命になりたいのです。働かずして朽ちたくはありません。私は神様が私の持っているすべての力をお使いになりこの世界で変わりたいのです。

ヨナについて気に入らないところは神様がニネベの住民に哀れみを注がれる事を望まなかった事です。彼は哀れみどころか神様がニネベに罰を与える事を望みました。

神様がお示しになった哀れみに対して怒りを表したヨナに対して、私は他人を哀れむ心を強めるよう神様に祈ります。他人が負った傷に心が寄せられるように自分の目ではなく神の目で人を見たいものです。

聖歌 第二編 26

祈り 神様。あなたの様に哀れみ深く愛情に満ちる事ができますように導いてください。この世に傷を負った人たちをあなたの目を通して見ることが出来ますようにお助け下さい。他人に仕える僕として私をお使い下さい。

イエス様の御名を通して。アーメン。

ベス・ロビンソン

テキサス州 ラボック

10月6日(日)

贈り物

聖書朗読 ミカ 6:1~8

善を行うことと、持ち物を人に分けることとを怠ってはいけません。

神はこのようないけにえを喜ばれるからです。

ヘブル 13:16

長い人生の中では贈り物をしたり送られたりする事がよくあります。思うに贈り物には、2種類あって送る人の好みに合わせたものと送られる人の好みを取り入れたものがあります。

私は“スーザン(或いはエリックまたはラトーヤ)からの贈り物が届きましたよ”と聞いてそれを受け取りました。これは良き贈り物です。と言うのは送り主にとってありがたいと思うものを送ってきてくれたからです。それはまさにその人が喜んで持ちたいと思っている物を聖書的に言う“いけにえ”としたのです。

一方、私がありがたいと思うものを気遣って買ってくれたと思われる贈り物も貰いました。私たちを十分よく知っている人なら、私たちから言い出さなくても、密かに良いなあと思っている贈りものを準備することが出来ます。

神様は両方の贈り物を望んでおられます。ひとつは、捧げ物は捧げる人にとって価値ある物で、もう一つは、神様ご自身で価値があるとされている物です。後者の方は、日頃の礼拝と日常生活においても神の統治を認識する事であり、私たちが他人に正義と慈悲と寛容さで接する事を望んでおられます。

讃美歌 第二編 188

祈り 御在天の父なる神様。私の生活を祝福してくれたすべての贈り主に感謝します。これらは贈り主の気持ちが詰ったものや自分に対する気遣いや思いやりが詰ったものです。イエス様を遣わされたという最高の贈りものに感謝します

イエス様の御名により。アーメン。

ビリー シルベイ

カルフォルニア州 ロサンゼルス